



(左上)円筒形の車載電池をモチーフにしたセンターサークルの下に作業スペース、ライブラリなど多様な機能を集約(4階)  
 (左下)センターサークルを中心にデスクや照明を放射状に配置することで求心性のある空間に (右)3・4階をつなぐ屋内螺旋階段の吹き抜け部分に設けられたコミュニケーションエリア

## パナソニック エナジー株式会社 住之江 生産プロセス開発棟

### 地域を表す木材が多用された 人と情報とつながる研究コア拠点

パナソニック エナジー株式会社は、大阪市臨海部にある住之江工場の敷地内に、EV向け電池などの生産プロセスを研究開発するグローバル拠点を建設した。当施設は、各地に点在していた製造工場と情報連携する生産技術開発のコア拠点と位置付けられている。敷地は大阪湾につながる木津川に面し、周囲には貯木場の池や木材加工場が残るため、ファサードは貯木場に浮かぶ丸太をイメージした縦模様とし、そこにバルコニーや外部テラスが組み込まれた。1～3階に実験実証エリア、3～4階は執務エリアとされて

おり、執務エリアは自由に人や情報とつながることが大切にされている。このため、3階と4階をつなぐ螺旋階段が設けられ、リバーサイドの眺望を活かしたレイアウトとなっている。会議室などを除いてメンテナンス性に優れたスケルトン天井が採用され、センターサークルには曲線タイプのライン照明を内蔵。放射状に広がるラインベースライトとともに求心性を強調している。また、共用スペースの照明は配線ダクトを用いたスポットライトペンダントでレイアウト変更にも柔軟に対応。各所に木材を利用することで、木の記憶を継承し、機能性と更新性、水辺の環境を活かしたワークプレイスが誕生した。



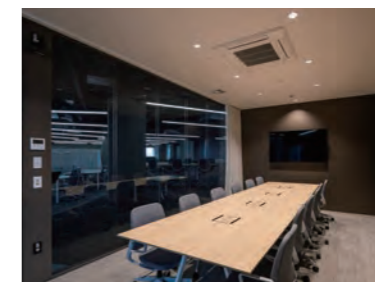
**住之江 生産プロセス開発棟**  
 所在地/大阪府大阪市住之江区平林北  
 事業主/パナソニック エナジー株式会社  
 設計・施工/鹿島建設株式会社  
 オフィスデザイン/株式会社イトーキ  
 電気工事/株式会社きんでん  
 竣工/2024年4月  
 規模/4階建(延床面積:約7,900m<sup>2</sup>)



隠れ家的なコミュニケーションの場。4階では、あえて明るい場所と暗い場所が設けられている



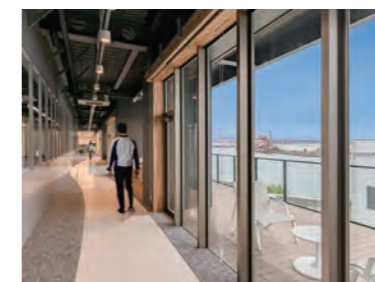
カラフルで明るい「KATARAI」エリア



カラーガラスと天井パネル、吸音カーテンで視線と防音性に配慮された執務室の会議室



ミニパーティにも利用できる北西角の個室会議室



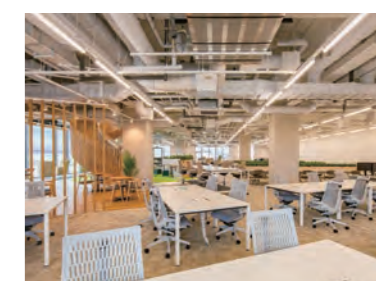
北側の通路外には多様なバルコニー席が並び



北に面する木津川の景観が楽しめる外部テラス



4階からもアクセスしやすい螺旋階段横のカフェ



明るく開放的な白いスケルトン天井の3階執務エリア

#### 主な設備

- LEDベースライト
- LEDスポットライト
- LEDダウンライト
- LEDペンダントライト
- 大型たてとい「Chic Line」
- オフィス用エアコン